



## Press Release

2014年3月19日

### **Omgeo CTM コミュニティが 2013 年の間に 33%拡大 新たに 430 社を超える証券会社や機関投資家が Omgeo のポストトレード・セントラル・マッチングコミュニティに加入**

ポストトレード業務合理化のグローバル・スタンダードを提唱するオムジオ（以下 Omgeo）は、2013 年中に新たに 150 の証券会社と 280 の機関投資家が同社の Omgeo Central Trade Manager<sup>SM</sup>（以下、Omgeo CTM）を採用し、コミュニティが 33%拡充したことを発表しました。Omgeo CTM は国内および海外の株式、債券、上場デリバティブ（先物およびオプション）、ならびにコントラクト・フォー・ディファレンス（差金決済）取引の約定照合のセントラル・マッチングのための戦略的なプラットフォームで、全世界で現在 1,700 を越える機関投資家や証券会社に利用されています。また同期間中に、Omgeo CTM を通じた株式・債券の取引量も 82%増加しています。

オペレーショナル・リスクを最小限に抑え、ポストトレード・プロセスの効率を高めるためにポストトレードの自動化ソリューションを求める機関投資家や証券会社が世界中で増加するにつれ、Omgeo CTM コミュニティは拡大し続けています。2013 年の間に、コミュニティが急速に拡大した背景としては、Omgeo が提供する各国取引の約定確認サービスが従来の OASYS Global<sup>SM</sup> から Omgeo CTM へと移行が完了したことも要因として挙げられます。500 以上の証券会社が数年に渡り進めてきた Omgeo CTM への移行が 2013 年 6 月に完了し、こうしたユーザーは最も合理化されたトレードプロセスとして広く採用されているセントラル・マッチングのベストプラクティスを活用して、大きな利益を得るようになっていきます。

国際的な機関投資会社である T. Rowe Price Associates のグローバルインベストメント業務担当ディレクター、ドミニク・ジャンセン（Dominic Janssens）氏は以下のように述べています。

「Omgeo CTM は当社のポストトレード業務においてリスクを低減し効率性を高めるために重要な役割を果たしています。業界では取引の約定照合プロセスにとってセントラル・マッチングが理想的な形だと考えられるようになっていきます」

Omgeo の親会社である DTCC（米国証券振替機構）のチーフクライアント・オフィサー（CCO）、ティム・キーディ（Tim Keady）は次のようにコメントしています。

「Omgeo は、コミュニティの拡大により Omgeo CTM のあらゆるユーザーのポストトレード業務のさらなる効率化をはかり、今後もコミュニティの拡大を最優先に取り組んでいきます。昨年特に、さまざまな要因の中でも、上場デリバティブを含めたアセットクラスの取り扱い範囲の拡大と同時に、アジア太平洋地域およびラテンアメリカ全域での展開に重点的に取り組んだことが大きな拡大につながりました。現在、45 を超えるお客様が当社の ETD（上場デリバティブ、先物及び上場オプション）取引機能の導入を予定しています。トレーディングやポストトレード業務へのベストプラクティスの導入がかつてないほど求められている状況で、当局と業界が一体となって決済サイクルの短縮に取り組むなど、堅牢で自動化されたプロセスの採用に弾みがついています。こうした傾向は 2014 年も続くものと期待しています」



## Press Release

欧州では、欧州委員会が提案した 2015 年 1 月のからの T+2（取引日+2 日）決済への移行期日に先駆けて、2014 年 10 月 6 日から T+2 を実施する市場が増加しています。そのため、市場関係者は、この期日までに約定照合を含めた取引ライフサイクルの決済照合までの手順が全て完了するように行動する必要があります。Omgeo CTM を導入した場合は、決済の効率化のためのカギとなる同日約定承認（SDA）の実現率が 94% となり、それに対して Omgeo CTM を使わない場合の米国国内での T+2 承認率は、マッチングトレードではわずか 36%、米国外の海外取引においても最高 72% にとどまります。このことから、Omgeo CTM が取引ライフサイクルの効率化に欠かせない手段であることがわかります。

### Omgeo CTM について

Omgeo Central Trade Manager（Omgeo CTM）は国内および海外の株式、債券、上場デリバティブ（先物および上場オプション）、ならびにコントラクト・フォー・ディファレンス（差金決済）取引の約定照合のセントラル・マッチングのための Omgeo の戦略的なプラットフォームです。

### オムジオについて

オムジオは、高度な技術力とグローバルに網羅されたネットワークにより、機関投資家、証券会社、カスタディアンバンク間のポストトレード（証券発注後）業務の効率化を実現しています。現在、オムジオは世界 52 カ国、6500 社のお客様、および 80 社のパートナー企業によるネットワークを構築し、グローバル・スタンダードを確立しています。また、オムジオは様々な市場やアセットクラス、取引ライフサイクルについてのポストトレード業務も幅広くカバーしております。そして、これらの業務を自動化、合理化させることで、お客様の取引先リスクおよび信用リスクを低減し、証券取引後から決済までの業務の STP 化（効率化）に貢献しています。オムジオの強みは、世界的なコミュニティと、市場や規制環境の変化に対応しながら、お客様の投資戦略のもと明確なリターンを実現させるためのソリューションを適応させる能力にあります。オムジオは 2001 年に設立された、DTCC（米国保険振替機構）の完全子会社です。オムジオに関する詳細は、[www.omgeo.com/japan](http://www.omgeo.com/japan) をご覧下さい。

<お客様、ユーザー様お問い合わせ先>

オムジオ株式会社 久元

E-mail: [satomi.hisamoto@omgeo.com](mailto:satomi.hisamoto@omgeo.com)

<報道関係お問い合わせ先>

広報代行 株式会社プラップジャパン 鈴木、矢畑

電話：03-4570-3191 E-mail: [m-suzuki@prap.co.jp](mailto:m-suzuki@prap.co.jp)